

# 鳥獣被害対策アドベンチャー フィールドワーク開催報告

フィールドワーク開催7エリアのうち、  
東北 関東 東海  
北陸 近畿 中国四国 九州

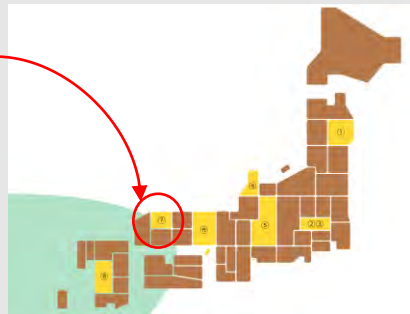
日時 令和6年1月27日～28日(2日間)

場所 島根県松江市

受入先 合同会社式百円  
<https://nihyakuyen.com/>



受入先(合同会社式百円)QRコード



## 参加者の声

・狩猟→加工→食品までの一連の流れを体験できて良かったです。普段都市で働く自分として、獣道を進み、足跡を辿るところから一日が始まることがすごく新鮮でした。単に罠や銃の知識だけでなく、泥まみれで獣道を進み、雪の上の足跡や泥や木から動物の行動や考えを自分の頭で考えてみたり、現地でしか味わえない体験ができて素直に良かったです。

・実際に狩猟や有害鳥獣捕獲をされている方々と一緒に山や解体施設に行き、生の声を聞くことで、自分がこれからどのように野生動物達と関わっていけば良いか考える大きな助けになりました。

## フィールドワークスケジュール

### DAY1 1/27(土)

**ガイダンス 12:50～13:30**  
参加者の自己紹介、フィールドワーク参加時の注意事項などの説明を受けました。



**体験フィールドワーク 14:00～15:45**  
フィールドにてわなの解説・設置方法について学びました。なお、猟友会から設置手法など、詳細に関する説明を受けました。



**フィールド散策 15:45～16:30**  
鳥獣の生息地に入って、鳥獣被害確認し、罠の設置見学、カメラの設置手法などの解説を受けました。



**座学研修 16:30～17:30**  
地域の鳥獣被害状況やジビエの活用など、それぞれの視点から行っている獣害対策と活用について説明を受けました。



### DAY2 1/28(日)

**体験フィールドワーク 9:30～11:00**  
前日設置したわなの見回りを行い、日々の見回り時の注意事項に関する説明を受けました。



**食肉処理施設見学 11:00～13:15**  
食肉解体施設を訪問し、イノシシの解体や保存方法などに関する解説をいただきました。  
※2組に分かれて、ローテーションで昼食。



**模擬銃体験 13:15～14:00**  
模擬銃を使用し、銃の取り扱い時の注意事項や操作方法などの解説を受けました。



**感想共有 14:15～14:30**  
参加者同士で2日間の感想を共有する時間となりました。

